

平成 24 年 9 月 14 日

ご投資家の皆様へ

BNYメロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社

米国製造業株式ファンド(愛称:USルネサンス)
～ FOMCによるQE3 の発表について ～

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

ご投資家の皆様におかれましては、平素より「米国製造業株式ファンド(愛称:USルネサンス)」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

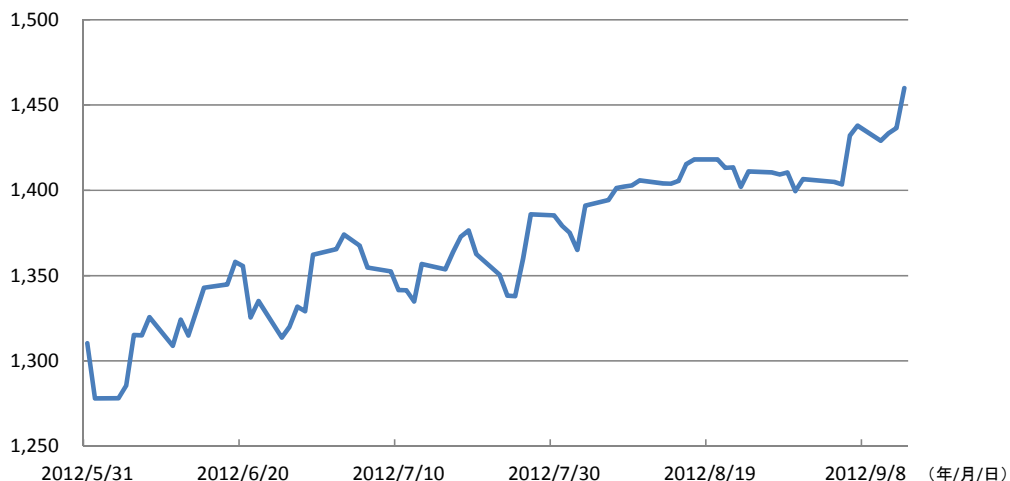
さて、9月14日に開かれた米連邦公開市場委員会(FOMC)の声明における量的緩和第3弾(QE3)実施の発表を受け、当ファンドの投資顧問会社である「ザ・ポストン・カンパニー・アセット・マネジメント・エル・エル・シー」の米国製造業株式市場に対する見通し等につきましてご紹介させていただきます。

敬 具

【QE3 発表後の市場動向と今後の見通しについて】

昨日の FOMC 声明文発表を好感し米国株式市場は上昇して取引を終えました。午前中の取引では、S&P500 先物指数で 1.5%上昇し、市場心理の弱気度合を示す VIX 指数は 9%低下しましたが、午後 12 時 30 分(日本時間 14 日午前 1 時半)に声明が発表されると、安全資産を売却しリスク資産へシフトする動きが強まり、S&P500 種株価指数は前日比 23.43 ポイント(1.6%)高の 1459.99 と 2007 年 12 月 31 日以来の高値で取引を終了しました。

S&P500種株価指数の推移
(2012年5月31日～2012年9月13日)



*出所: Bloomberg のデータを基に BNY メロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社が作成

●当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的に BNY メロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社が作成したものです。●当資料に記載の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。●ファンドに生じた利益及び損失は、すべて受益者に帰属します。

昨日の米国株式市場の反応は、今回の FOMC による声明が市場の期待を大きく上回る内容であったことを示唆しており、注目されるポイントは次の 3 つであると考えています。

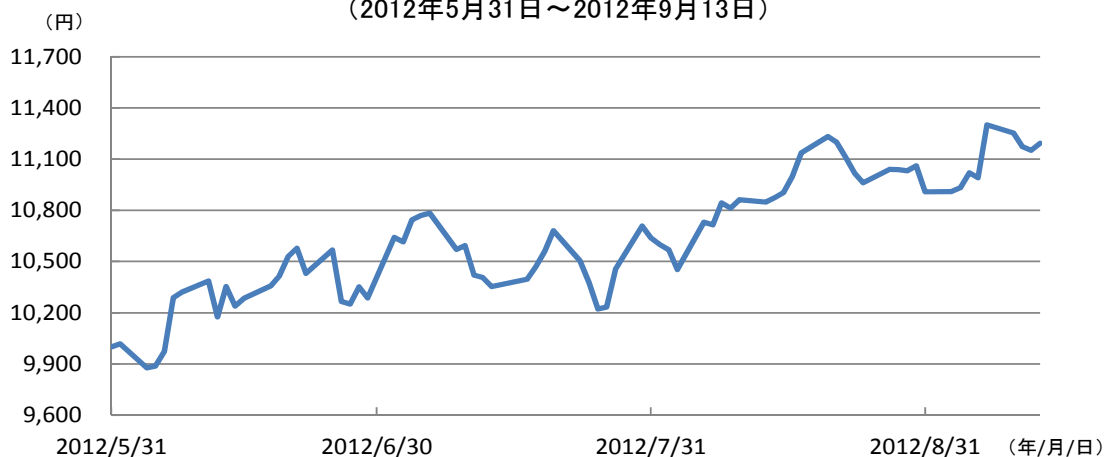
- 1) 少なくとも 2015 年半ばまでは事実上のゼロ金利政策を続けることをコミットしたこと。
- 2) 住宅ローン担保証券(MBS)に加えて、連邦準備制度による追加的資産購入の可能性が開けたこと。
- 3) 期間や購入規模を限定した従来型の買入れではなく、制限を設けないオープンエンド型の量的緩和策を導入し、雇用環境が「十分に」改善するまでそれを継続すること。

今回の FOMC による声明において興味深い点は、連邦準備理事会(FRB)が、将来、経済指標が改善した場合には量的緩和政策を中止するという条件を明確にしたことです。しかしながら、弊社では全般的に今回の FRB の声明は非常に積極的な内容であり、今後の経済成長を下支えする可能性が高まったと見ております。打ち切りの時期が前もって決定されている政策よりも、状況が改善するまで継続することを約束した政策の方が投資家にはより好感されることでしょう。ただし、FRB が行っている一連の金融政策は、米国が景気後退から景気回復へ向かうための重要な要素ではありますが、いくつかある要素のうちの一つにしか過ぎません。米国の経済成長に影響を与える要因は他にもあります。例えば、欧州債務問題、中国の景気動向、米国のフィiscal・クリフ(財政の崖＝大型減税等が 2012 年末に期限切れを迎えること)や米大統領選後の税・予算方針などです。また、イランやイスラエルなどの地政学上のリスクにも注意が必要であると考えています。

弊社では、今回の QE3 発表は今後の経済成長の下支え要因となる公算が大きいと考えており、米国製造業株式ファンドにつきましても、米国経済の持続的成長によるプラスの恩恵を受ける可能性が高まったと考えております。2012 年 9 月 13 日時点における当ファンドの基準価額は 11,193 円(1 万口あたり)となっており、パフォーマンスは設定以降、極めて順調に推移しています。当ファンドでは、資本財・サービス、情報技術セクターについては高めの保有比率を維持しており、加えて素材や一般消費財など景気拡大局面では株価上昇率が相対的に高い傾向を示す業種に対しても積極的に投資を行っております。従って、今後、米国の景気拡大が予想を上回るものとなった場合に、当ファンドにつきましても市場対比で更に良好なパフォーマンスを上げる可能性が高いものと予想しております。

当ファンド基準価額の推移(1万口あたり)

(2012年5月31日～2012年9月13日)



* 基準価額は信託報酬控除後のものです。

* 当該実績は過去のものであり、将来の運用成果を約束するものではありません。

●当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的に BNY Mellon Asset Management Japan 株式会社が作成したものです。●当資料に記載の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。●ファンドに生じた利益及び損失は、すべて受益者に帰属します。



ボストン・カンパニー社では、米国製造業を取り巻く環境の変化によって恩恵を受けることが予想される銘柄をいち早く見つけ出し、中長期的な信託財産の成長を目指して引き続き、運用努力を重ねて参る所存です。今後とも末永く当ファンドをご愛顧賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

以上

●当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的に BNY Mellon Asset Management Japan 株式会社が作成したものです。●当資料に記載の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。●ファンドに生じた利益及び損失は、すべて受益者に帰属します。

<ファンドのリスク>

- 当ファンドは、マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として米国の株式への投資を行いますので、組入れた有価証券等の値動き(外貨建資産には為替変動もあります。)により、当ファンドの基準価額は大きく変動することがあります。

当ファンドは、元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により解約・償還金額が投資元本を下回り、損失を被る可能性があります。運用により信託財産に生じた利益または損失は、すべて受益者に帰属します。当ファンドは、預貯金とは異なります。また、当ファンドは、預金保険または保険契約者保護機構の対象ではありません。

- 当ファンドの基準価額変動要因としては、主に「価額変動リスク」、「株式の発行企業の信用リスク」「為替変動リスク」や「流動性リスク」などがあります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

<お客様にご負担いただく費用>

お客様には以下の費用をご負担いただきます。

- 直接ご負担いただく費用

○購入時手数料:

3.15%(税抜 3.0%)を上限として、販売会社が定める申込手数料率を買付申込日の翌営業日の基準価額に乗じて得た額となります。

○信託財産留保額: 換金申込受付日に翌営業日の基準価額に0.3%の率を乗じて得た額とします。

- 間接的にご負担いただく費用

○信託報酬

毎日、信託財産の純資産総額に**年 1.7850%(税抜 1.70%)**の率を乗じて得た額とします。

※委託会社の受取る報酬には、マザーファンドの投資顧問会社への投資顧問報酬が含まれ、信託財産に属する当該マザーファンドの受益証券の時価総額に、年0.53%の率を乗じて得た額とします。

○その他の費用

監査費用、目論見書等の作成、印刷および交付費用ならびに公告費用等の管理、運営にかかる費用、組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料、先物・オプション取引等に要する費用、外貨建資産の保管費用等が、信託財産より支払われます。

(注)この他に、投資対象とする投資信託証券においても、上記費用に類する費用がかかります。

◆その他費用・手数料については、資産規模および運用状況等により変動しますので、料率、上限等を表示することができません。

● 投資信託委託会社

BNY メロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社

金融商品取引業者: 関東財務局長(金商)第406号

[加入協会] 社団法人 投資信託協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会